

### 第3回経営協議会記録

日 時 平成26年6月24日(火) 15:00～17:05

場 所 柏原キャンパス事務局棟小会議室

出席者 栗林学長,

小川, 竹村, 塚本, 橋本, 浜中, 越桐, 入口, 中西, 若井, 向井

以上各委員

陪席者 小田監事

開会に先立ち、急逝された高橋叡子委員に対して出席者及び陪席者一同で黙祷が行われた。

続いて、前回の経営協議会の議事録について確認が行われた。

#### 議題(1) H25年度決算について

宮崎管理部長から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

##### 【主な質疑】

- ・資産見返負債とはなにかという質問に対して、丸井財務課長より説明がなされた。

#### 議題(2) 平成26年度予算(第一次補正)について

宮崎管理部長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

#### 議題(3) 業務達成基準について

宮崎管理部長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

#### 議題(4) 平成27年度概算要求について

宮崎管理部長から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

##### 【主な質疑】

- ・運営費交付金の重点事項の特別経費について、これまで予算要求でどれくらいの額を獲得してきたかという質問に対して、法人化当初は2億9千万円獲得していたが、徐々に減少し1千万円程度になっている一方で、大学の機能強化にかかる特別経費においては、京阪奈で約7億円獲得している旨の説明が栗林学長よりなされた。

- ・概算要求のスケジュールについての質問に対して、本学が文科省へ調書を提出する締め切りが7月24日、文科省が各国立大学法人に概算要求の内訳について連絡がなされるのは8月上旬ごろ、文科省が財務省に調書を提出する締め切りが8月末めど、という説明が丸井

財務課長よりなされた。

議題（５）平成２５事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

若井理事から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

**【主な質疑】**

・進捗状況はⅢでいいのか、Ⅳにしておかなくていいのかという質問に対し、Ⅳにするにはそれ相応の説明が求められる旨の回答が栗林学長よりなされた。

・入学者数と収容定員はどれだけの乖離が許されるかという質問に対し、国立大学の充足率は1.1倍以下、0.85倍以上であれば運営費交付金にペナルティはないという回答がなされた。

・タブレット端末を使ってのペーパーレス会議について、データ流出の恐れはないのかという質問に対し、運用ガイドラインを定め、文書には必要に応じてオンラインでの閲覧制限、ダウンロード防止などのセキュリティを設定している旨の説明が若井理事よりなされた。

議題（６）大阪教育大学基金について

若井理事から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

報告（１）平成２５年度資金運用について

宮崎管理部長から資料に基づき報告がなされた。

報告（２）その他

第１回経営協議会で質問のあった入学者の定員割れや超過率の分析結果について、入口理事より説明があった。

**【主な質疑】**

・入学志願者数が平成１７年度に比して約１０００名も減少している状況は、大学の財政基盤を脅かすのみでなく学生の質の担保という観点からも深刻である、という発言があった。

・漫然と定員割れを座視している状況、特に過去５年にわたり定員を充足していない大学院・専攻については努力不足を通り越して怠慢と言える、という発言があった。

・学生の質を懸念する教員もあるようだが、単に点数の優劣だけでなく学生の本質を探る

ような試験に改善すべきである，という発言があった。

・費用対効果云々でいうなら，しかるべき教員を抱えていながら，希望する学生に教育を施さないのはまさに税金の無駄遣いと言える。国民目線で見ただけの場合，これこそが費用対効果が不十分と言えるのではないか，という発言があった。

・大学院・学部共に，受験生減少の原因分析の上に，さらに増加させる為の具体的方策を早急に講ずる必要がある，という発言があった。

・日本語能力が劣っている留学生に対する何らかのケアは必要である，という発言があった。

以上